

(別添 4)

【関ヶ原町】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領および中央教育審議会答申「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」の中で、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない個別最適な学びの実現や、その学びを支えるための質の高い教育活動を実施可能とする環境整備の必要性が示されている。

これらを踏まえ、関ヶ原町では「令和の日本型学校教育」の実現に向け、時代に則した ICT 環境の整備と、ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実現し、子供たちの資質・能力の育成を目指す。

2. GIGA 第 1 期の総括

本町における GIGA 第 1 期では、1 人 1 台のタブレット端末の導入、普通教室と特別教室への電子黒板の設置、校内ネットワーク環境の整備などハード面の整備を行うとともに、学習支援アプリ、デジタル教材、学習者用デジタル教科書の導入など、ソフト面の充実も図ってきた。また、ICT 支援員を配置し児童生徒や教員の技術面、運用面のサポートも併せて行った。

令和 5 年度には「ICT 活用モデルの構築・推進事業」の実践フィールド校として関ヶ原小学校、関ヶ原中学校が、デジタルツールの有効な活用方法や学習効果の高いソフト等についての実践研究を進めた。また関ヶ原小学校においては令和 5 年度から 3 年間「「指導と評価の一体化」による学習評価の充実・推進事業」の指定校として、ICT を活用した効果的・効率的な「指導と評価の一体化」の実現に向けての実践研究を行っており ICT 教育の推進を図っている。

一方、端末の恒常的な容量不足による不具合、OS 起動に時間がかかることによる使い難さなど、一部の OS で課題が生じている。第 2 期の GIGA 端末更新にあたっては、町内の小中学校における OS の統一化、起動の早い OS への変更など改善を図る。

3. 1 人 1 台端末の利活用方策

(1) 1 人 1 台端末の利活用方策

GIGA 第 1 期で導入したタブレット端末、電子黒板等を効果的に更新し ICT 環境の維持を図って行くとともに、教職員の研修機会の充実、教職員への効果的な活用についての情報共有などを行い、児童生徒の積極的な活用に繋げていく。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

個別最適な学びと協働的な学びの充実を一体的に推進するため、積極的に1人1台端末や授業支援システムを活用し、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの実現に向けた授業改善に繋げていく。

(3) 学びの保障

不登校児童生徒や支援室登校児童生徒への授業のオンライン配信、困り感を抱える児童生徒への教育相談など、端末を活用し個々の実態に応じた学びの保障に努める。